

**養護教諭のコンピュータ環境調査
報告書**

2020年10月23日

日本養護教諭関係団体連絡会

1. はじめに

現在、新型コロナウイルス感染症拡大による新しい生活様式や、新しい学校環境における教育が進められるなか、養護教諭は、インターネットでの情報収集や配信、遠隔授業など多様な情報処理システムを活用できる時代となった。そこで、養護教諭のコンピュータ環境がどのようになっているかを調べることで、さらには関係省庁への要望事項の根拠資料とすることを目的とし調査を行った。

2. 方法

養護教諭が利用するパソコン利用状況やインターネット環境等に関する項目を作成し、グーグルフォームによる調査を行った。調査期間は、2020年9月26日（土）より10月16日（金）までとし、グーグルフォームの配信は、日本養護教諭関係団体連絡会のメンバーが各々の知人や関係団体に依頼し行った。

なお調査にあたっては、画面上に調査の趣旨を記載したうえで個人が特定されることのないよう無記名で行い、回答をもって同意したこととみなした。

回収数 534 名、有効回答数 532 名（有効回答 99.6%）であった。

3. 結果

3-1. 学校でのパソコン利用状況

学校で養護教諭が専用に使えるパソコンはほぼ完備されていた（表1）。しかし保健室で利用できるパソコンは約6割、学校の共用は約5割であり、個人のパソコンを使用しているものが約2割いた（表2）。個人のパソコンを使用することは個人情報の観点からも課題があり、保健室にパソコンが整備されることが望まれる。

表1 学校で養護教諭が専用に使えるパソコンはありますか

n=532	度数	パーセント
ある	528	99.2
ない	4	0.8

表2 利用できるパソコン（複数回答）

n=532	度数	パーセント
保健室のパソコン	294	64.1
学校の共用パソコン	240	45.1
個人のパソコン	118	22.2

3-2. インターネット環境

養護教諭が学校で使用できるインターネット環境は、ほぼ整っており(表 3)、大多数は勤務時間中にパソコンを利用していた(表 4.5)。一方、私物と思われるスマートフォン使用者が約 2 割おり(表 4)、情報管理や私物利用をしている点は改善されるべきである。また快適なネット環境に欠かせない Wi-Fi (無線 Lan) 環境は、約 6 割が整っておらず(表 6)、早急な環境改善が求められる。

インターネット利用の内容は、「日本スポーツ振興センターの災害共済給付オンライン請求システム」、「保健日より等、養護教諭が校内で健康情報を発信する際の閲覧」、「健康情報の閲覧」「保健学習の教材づくりのための閲覧」が圧倒的に多く 8 割以上を占めた(表 7)。一方、校内外の web 会議は約 2 割に留まり(表 7)、推進の必要性が示された。また YouTube の視聴は約 8 割(表 8)、資料印刷はほぼ全員が可能であった(表 9)。

表 3 学校で養護教諭が使えるインターネット環境はありますか

n=532	度数	パーセント
ある	528	99.2
ない	4	0.8

表 4 学校でインターネットにつながられる端末はどれですか。(複数回答)

n=532	度数	パーセント
パソコン	520	97.7
タブレット	211	39.7
スマートフォン	89	16.7

表 5 端末は、勤務時間中、養護教諭が自由に使うことはできますか

n=532	度数	パーセント
できる	506	95.1
できない	20	3.8
無効	6	1.2

表 6 学校で養護教諭が使える Wi-Fi (無線 Lan) 環境は整っていますか

n=532	度数	パーセント
整っている	234	44.0
整っていない	296	55.6
無効	2	0.4

表7 学校にインターネット環境がある場合、どのようなときに利用しますか。(複数回答)

n=532	度数	パーセント
日本スポーツ振興センターの「災害共済給付オンライン請求システム」	503	94.5%
保健だより等，養護教諭が校内で健康情報を発信する際の閲覧	468	88.0%
健康情報の閲覧	454	85.3%
保健学習の教材づくりのための閲覧	442	83.1%
物品購入のための閲覧	303	57.0%
学会等の情報の閲覧	256	48.1%
書籍購入のための閲覧	221	41.5%
校外のWeb会議（Teams，Zoom，Google meet等）	131	24.6%
校内のWeb会議（Teams，Zoom，Google meet等）	112	21.1%
その他（感染症情報システム7，保健日誌記録入力1，薬の添付文書1，疾病検索1，救急処置検索等々1，サーベイランス1，ほけんだよりや掲示物の素材のダウンロード1，メール2，管内学校との情報交換1，校内支援システム1，病院受診検索1，業者打ち合わせ1，天気1）	17	3.2%

表8 端末からYouTubeを視聴できますか

n=532	度数	パーセント
できる	440	82.7
できない	85	16.0
無効	7	1.3

表9 学校でウェブサイトの資料を印刷できますか

n=532	度数	パーセント
できる	519	97.6
できない	13	2.4

3-3. メール使用

学校で養護教諭が使用するメールについて、個人のメールアドレスを持っているものは、約7割であった（表10）。またメールの送受信の容量制限があるものは約3割で（表11）、不便を感じるは約3割（表12）であった。容量制限がわからないと回答したものが約7割おり、使用者側の意識の問題も伺われた（表11）。

なお、容量制限で不便を感じる時は、パワーポイントや画像、データの送受信ができないなどであった。

表 10 学校で使用する個人のメールアドレスをっていますか

n=532	度数	パーセント
いる	372	69.9
いない	160	30.1

表 11 学校で使用するメールの送受信の際に、添付ファイルの容量制限はありますか

n=532	度数	パーセント
ある	151	28.4
ない	28	5.3
わからない	351	66.0
無効	2	0.4

表 12 容量制限によって不便を感じることはありますか

n=532	度数	パーセント
ある	140	26.3
ない	217	40.8
無効	175	32.9

3-4. オンライン会議

学校でのオンライン会議の環境が整っているが約 6 割（表 13）、経験のあるものは約 3 割（表 14）に留まっており、表 7 の web 会議の利用状況が約 2 割であったこととも関連し、これから情報社会が進むうえで、養護教諭のオンライン会議の環境と参加経験ともに改善する必要があるが示された。

表 13 学校で養護教諭が Zoom や Teams, Google meet などのオンライン会議を行う環境が整っていますか

n=532	度数	パーセント
いる	301	56.6
いない	231	43.4

表 14 学校で養護教諭が Zoom や Teams, Google meet などのオンライン会議を行った経験がありますか

n=532	度数	パーセント
ある	173	32.5
ない	359	67.5

3-5. 養護教諭からのホームページ上の情報発信

養護教諭が学校のホームページに学校保健に関連する情報をどの程度発信しているかについては、学校保健計画、保健室経営計画はともにわずか3%未満、保健だよりは約3割にとどまっており（表 15, 16, 17）、今後、養護教諭が学校保健情報等発信について Web 環境を活用する必要性が示された。

表 15 学校のホームページに、学校保健計画を掲載していますか

n=532	度数	パーセント
いる	15	2.8
いない	516	97.0
無効	1	0.2

表 16 学校のホームページに、保健室経営計画を掲載していますか

n=532	度数	パーセント
いない	526	98.9
いる	6	1.1

表 17 学校のホームページに、保健だよりを掲載していますか

n=532	度数	パーセント
いる	154	28.9
いない	377	70.9
無効	1	0.2

4. まとめ

養護教諭のコンピュータ環境を調査した結果、学校におけるパソコンやインターネット環境はほぼ整っているものの、個人のパソコンやスマートフォンの使用、Wi-Fi 環境が整備されていない、メールの容量制限がある、オンライン会議の環境が整わない、などの課題が浮き彫りになり、今後の環境整備の必要性が示された。

一方で、学校保健計画、保健室経営計画、保健だよりにおける情報発信の低さが示され、養護教諭自身がネットを通じて情報発信する意識を養う必要がある。

なお本調査の限界は、役員ネットワークに依るスノーボールサンプリング方式によるネット配信の調査であること、調査はグーグルフォームで行ったため、ネットに慣れ親しんでいたり、比較的環境が整った学校に勤務していたりするという対象者の偏りの可能性があること、回答者の学校種、年齢、地域を調査していないため、回答者の属性比較はできないことである。

本結果をもとに、今後、学校における養護教諭の情報環境の整備の充実に向け、本会として努力したい。

(文責 竹鼻ゆかり「養護教諭のコンピュータ環境調査」担当)

2020年10月23日

日本養護教諭関係団体連絡会 役員

会長 三木とみ子 (日本健康相談活動学会)

副会長 遠藤伸子 (日本養護教諭養成大学協議会)

浅野 明美, 小林 幸恵 (全国養護教諭連絡協議会)

竹鼻ゆかり, 工藤 宣子 (日本教育大学協会全国養護部門)

後藤 ひとみ, 鈴木 裕子 (日本養護教諭教育学会)

鎌塚 優子 (日本健康相談活動学会)

池添 志乃 (日本養護教諭養成大学協議会)